

# autocult

データシート

BMW S1 (東ドイツ, 1949)

合理化

scale 1:43

#04037

release

05/2023

limited edition 333 pcs.



夢は...

第二次世界大戦が終わり、連合国4カ国がドイツ帝国を分割すると、アイゼナハの旧BMW支社工場はロシアの占領下に入った。ロシアの影響下で、工場は「アフトウェロ」と呼ばれるようになった。旧製造所には、戦前に生産されていたBMW 328の部品がまだ十分に残っていた。ロシアの支援を受ければ、敵とされた西ドイツよりも優れた自動車をすぐに生産できるという考えが、多くの人の心中に根付いていたのである。特にロードレースでは、競争力のあるレーシングカーへの要望がより一層強くなっていた。

この課題を達成するために、アイゼナハの技術者たちは、これまでの設計とは異なる2リッタークラスのレーシングカーの製作に取り組かった。それは、空気力学を徹底的に追求した外観にも表れている。そのため、当時は一般的だった独立した車輪がなく、車輪はボディの中や下に配置されていた。また、通常より小さいステアリングアングルを考慮し、車幅は競合他社よりはるかに広くなった。滑らかなアルミニウム製

ボディは、格子状のチューブフレームの上に取り付けられ、突起物は見当たらない。設計と製作は、エンジニアのゲオルク・ハフナゲルを中心とするクルーが担当した。このレーシングカーは2勝し、その後公道走行可能な2シーターに改造され、1950年にライプツィヒ見本市で展示された。

AutoCult GmbH  
Äußere Further Straße 3  
90530 Wendelstein  
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280  
ファックス +49 / 9129 / 296 4281  
info@autocult.de

[www.autocult-models.de](http://www.autocult-models.de)